

2021年(令和3年)6月24日(木曜日)

# 家族失うつらさ切々と

## 被害者遺族 島根大で講演



娘を亡くしたつらさや命の尊さを説く江角弘道さん。松江市西川津町、島根大。

飲酒運転の車による事故で娘を亡くした江角弘道さん(76)が22日、松江市西川津町の島根大で講演し、学生40人に突然家族を奪われたつらさ、命の尊さを説いた。

1999年12月、鳥取大3年生だった次女真理子さん(20)が、鳥取県内の国道で友人の車に同乗していた、中央線を越えてきた飲酒運転の車と衝突し、命を奪われた。

江角さんは家族を失った深い悲しみで脱力感に襲われ、他人に会うのが嫌になった当時の思いを明かした。

「1人の死は周囲の多くの人生も狂わせる」と振り返り、学生に向けて「事故の加害者にも被害者にも決してならないでほしい」と強く訴えた。

さらに、家族の死を通じて命について考える中、平

穏な日常を過ごすありがたさに気づいたといい、理不尽な死はいつでも起きると肝に銘じるよう指摘。

「自分の命は自分だけのものではない。皆さんの夢をかなえるために今を大切に生きてほしい」と語りかけた。

講演は、犯罪被害者支援について学ぶ講義「地域社会の生活と安全」の一環。

取材・文：中島諒